

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	中学教科教育法 I (英語)				
担当者氏名	アレックス M. 林				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択必修	開講年次・開講期	2年・春期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門基礎-1 国際社会に貢献できる人材育成 ○ 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上				

《授業の概要》

本講座では、英語の教員として、中学校・高等学校における教科としての英語の指導上必要と期待される知識と技能を育成するために、講義と演習を行う。学習指導要領、外国語の教授理論、外国語学習に不可欠な異文化理解・コミュニケーションの問題、教育機器活用について、ALTとのTTなどが含まれる。また、受講者に合わせシラバスに若干の変更を加える場合がある。

《授業の到達目標》

- ・中学生の心身の発達と心理（認知）についてわかる。
- ・主だった英語教授法についてわかる。
- ・学習指導案計画が作成できる。
- ・学習指導案が作成できる。
- ・教材研究ができる
- ・（模擬）授業ができる。
- ・評価方法についてわかる。

《成績評価の方法》

毎授業時の参加態度、小テスト、模擬授業等を総合的に判断して評価する。

《テキスト》

実践的英語科教育法（村野井 仁、他）成美堂

《参考図書》

《授業時間外学習》

学習指導案作成・模擬授業準備にかかる文献検索教材作成等

《備考（教員経験の有無）》

イギリスの大学、大学院、ニュージーランドの大学教員経験、小中のALT講師としての経験、・ラジオ子ども英語プログラム制作・講師、文科省より全国の新任ALTへの指導経験

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	イントロダクション ESL vs EFL	英語を外国語として教えるとはどういうことか。ESLとEFLのちがいは何か。（コロナ禍での授業のあり方も含めた授業紹介も行う）
2	学習指導要領	学校での英語教育は学習指導要領に基づいて行われる。学習指導要領とはどういうものか。
3	教授法	いくつかの教授法について、その長所短所を検討し、実際の教授にどのように応用できるかを考える
4	教科書研究	教科書（主要な教科用図書）は授業でどのように取り扱うべきかを考える。
5	英語教員の資質について	英語教員にはどのような資質が求められているか。また、それはなぜかを考える。
6	指導案	指導案作成について
7	教材作成	授業を効果的に進める教材作成について
8	模擬授業 1	受講者による模擬授業と相互評価
9	異文化理解	異言語を教えることは異文化を教えることと言われている。これはどういう意味か
10	学習評価	学習指導をすれば評価が必要である。「学習評価」とはどういうものかを考える。
11	ALTとの協働	外国人指導助手（ALT）の役目と、かれらとのチームティーチングについて考える。
12	教育機器の活用	教育機器（ICT含む）にはどういうものがあり、どういう働きをするものかを考える
13	教材研究	授業をするには教材を十分に準備しなければならない。教材研究について考える。
14	模擬授業 2	受講者による模擬授業と相互評価
15	まとめとテスト	まとめとレポートテスト